



…『キラキラ』の由来…

NPO・ボランティアなどの活動が活発になり、多くの市民の顔がキラキラ輝くようにという願いを込めました。

なくそう迷惑行為！モラル・マナーアップ北九州

NO:76 平成20年8月15日

…つばやきサロン…

NPOが行う街づくり In サンフランシスコ

世界でNPOの活動が最も進んだ街への旅で見たこと聞いたこと。

<NPOのホームレス支援>

米国は格差社会だ。ダウンタウンに出るとホームレスが多くいる。ヒスパニックやアフリカンアメリカンなど人種も言葉も雑多だ。歩いていると、市民センターの前で中国系の人々の長い列が出来ているので、何を待っているのか尋ねると食事が無料で配られているとのことだった。

1ブロック歩くとヒスパニックの人々の列があり、別のNGO団体がマカロニの昼食を配っていた。同じ地域、同じ目的でも、組織も違えば対象も違うのかと印象的だった。多くのNPO活動が活発であることを肌で感じる光景だった。

<ダウンタウン・パークレー (DB) のNPOによる再開発>

パークレー (以下DB) の再開発をしているNPOデレクターのデブラさんにインタビューすることができた。DBは住宅や店舗が郊外へ移動し、1970年代には暗くて汚い沈んだ街になっていた。1990年に美しく、歴史的かつユニークな公共のスペースを創り出すことをねらいに、800団体を超えるNPOと会社と行政が協働しThe Downtown Berkeley Association (以下DBA) を立ち上げた。DBAは多くの事業団体から資金を集め大規模な街の再開発を行った。古い倉庫を劇場に変え、アパートの改装を行うなどのハード面と並行し、街頭コンサートなどをして集客を図ったり、発達障害児のためのプログラムやジャズスクールなどユニークなイベントを行ったりして魅力ある街にした。企画するアイデア料は事前に会社と契約し、それぞれの会社の利益の数パーセントがDBAに入る仕組みになっている。アイデアにお金を払う仕組みが整っていて、会社もNPOも共に利益がある。この成功は街に関係する人々の垣根を越えた協力と、アイデアを考える人、実行する人材がいたということだ。



1990年代パークレーの市場



2005年再開発後

<キーワードはやっぱり人>

デブラさんはまだ30代で子育て真っ最中だが、本当に生き生きと仕事をしていた。「これは、ボランティア活動ではなくビジネスです。」と言っていたのが印象的だった。人を幸せにしていること、認められていることが、彼女に力を与えているのだろうと思った。見た目は、とても小さな普通の女性が、こんな大きなビジネスをしていることに心底、感動を覚えた。やっぱりキーワードは人かと思った。

NPO法人 GGP (ジェンダー・地球市民企画) 理事 元松加代子

第1回・サポートセンターの日/2008・7・25

日常生活の中で向き合う「健康」

～NPOが取り組む健康支援～



ゆり根の会
代表 田中 佳子さん

今から30年以上前、義父が経営する会社が倒産し、病気の義父に代わって多大な借金を背負って働く主人を支え、5人の子を育てるには何より健康が大事という思いから、月刊誌“あなたと健康”で、自然食や自然療法について学ぶ傍ら、生協の活動を始めたのがきっかけです。

活動を始めた当初は、添加物の少ない食べ物が欲しかったので、食べ物について学ぶことや仲間を増やすことが主体でした。昭和54年、無農薬・無化学肥料の野菜が欲しいという思いから有志で青空市場を立ち上げました。昭和57年、開催場所を公民館から自宅に移し、毎週一回、休むことなく10年間続けましたが、生協のあり方が変わり、青空市場はやめたものの、それまで学んできたことをそのままにしておくのはもったいないとの思いから、平成2年、「ゆり根の会」（心と体の健康を自然に学ぶ会）を発足しました。

現在会員数は26人、月2回の例会と月1回の“ゆり根だより”の発行が主な活動です。

例会では市民センターでの健康料理講座、自然の手当法、東洋医学的療法（気功・呼吸法・楽健法）の紹介、その他、講演会やチャリティーバザーなども行っています。バザーの収益金は「ゆり根ボランティア基金」として、国内はもちろん海外の被災地や貧しい子供達の支援などに使っています。

“ゆり根だより”は、現在定期購読者が300名余り。ご希望の方に全国発送しており、7月で184号になります。自然食、自然の手当法のすばらしさだけでなく、心のあり方、生き方の見直しが健康に大きく作用することなどを書くことは、私自身の自分育てとなり、また読んでくださる方達が喜んで下さることで、私自身が大きなエネルギーをいただいています。

これからも“ゆり根だより”を書き続け、様々な活動を通して、出会った方々に真の健康と真のしあわせについて伝えていきたいと思っています。



特定非営利活動法人 はつらつ日本
副理事長 宮野 陽子さん

「NPO法人はつらつ日本」は、“要介護”よりも“ノー介護”をモットーに、“高齢者を中心に広く一般市民に対して「心」「医」「食」「運動」「住まい」という5つの視点から介護予防に取り組むことを目的に2007年4月より活動を開始し、同年11月に特定非営利活動法人として認証されました。

私達団体が目指しているのは「予防」です。今や世界一の長寿国になった日本ですが、大切なのは“いかに長く生きるか”よりも“いかに健康寿命を延ばすか”です。病気や要介護状態になる前に、様々な形でそれを予防することができれば、個人の幸せはもちろんのこと、国や地方自治体にとっても財政的な負担の軽減となります。

現在会員数は20名弱、歯科医師である理事長を始め、サラリーマン、自営業者など、スタッフ全員が忙しい仕事の傍ら活動しています。

主な活動としては、それぞれの分野で活躍している専門家を講師に招いて、健康料理教室、講演会、相談会などを開催しています。5つの柱のうち、2つ以上を組み合わせて行うことが多く、例えば毎月ヘルシークッキング講座を開催していますが、その際、口腔ケアの講演や高齢者が楽しみながらできる体操指導等を行っています。

活動をしていて実感することは、人を集めることの難しさです。一つ一つのイベントをいかに充実させるか、どのようにすれば高齢者の興味をひくことができるのか試行錯誤です。また、お年寄りの方々が受け身ではなく、自分達で動くことが大事だと考えています。今後はお年寄り自らがグループを作って交流していくような方向に活動を広げていければと思っています。

いくつになっても元気にはつらつと暮らすために、皆様の健康づくり、幸せづくりに貢献できるよう今後も活動していきたいと思っています。



情報のひろば

イベント・ボランティア

◆北九州市立医療センター ボランティア募集

～緩和ケア病棟でボランティアを始めてみませんか～

○活動内容：屋上庭園の手入れ、花の水換え、キッチンの整理整頓、行事のお手伝いなど

○活動日時：平日の10:00～11:00
14:00～16:00

※都合の良い曜日、時間帯で

○対象：健康な方であれば年齢、性別は問いません

○条件：当院が行う緩和ケア病棟ボランティア養成講座（全講座）の受講が可能な方

○募集人員：10名程度

※講座日時：9月4日・11日・25日（いずれも木曜日）
15:00～16:00

※講座会場：医療センター別館6階603会議室

○申込・問合せ先：北九州市立医療センター
看護部長室 湯元
TEL：093-541-1831
（内線3310）

◆NPO会計・税務セミナー

～アフターフォロー付き～

○日時：8月28日、9月4・11・18・25日、
10月2・9・16・23・30日

10:00～12:30

※全10回 全て木曜日

○北九州会場：西日本総合展示場、
小倉興産KMMビル

○対象：NPO法人やボランティア団体の代表者・会計担当者

○受講料：無料

○定員：30名（定員になり次第締切）

○主催：福岡県NPO・ボランティアセンター

○企画運営：NPO法人設立支援生き生きネットワーク

○申込・問合せ先：NPO会計・税務セミナー事務局

◆平成20年度 北九州市環境首都検定

北九州市では「美しき世界の環境首都」を目指しています。全国初！環境首都検定を実施します。

○試験日時：11月9日（日）

10:00～12:00

○会場：西日本総合展示場新館 1階

○申込締切：9月30日（火）

○受験料：無料

○検定対象者：制限なし

○定員：500人

○問合せ先：北九州市環境局環境首都推進室

TEL：093-582-2784

（担当：佐藤、加地）



◆非暴力のためのコミュニケーショントレーニング

パートナーとの関係に問題を感じている男性のための講座です。

○日時：9月13・20・27日、10月4・11・
18・25日、11月1日

※全て土曜日 全8回

19:00～21:00

○会場：受講決定後お知らせ（JR小倉駅近く）

※全て同会場

○定員：12名（原則8回の講座すべてに参加いただける方に限ります。）

○対象：自らの暴力性に悩む男性、またはパートナーとの関係に問題を感じている男性

○ファシリテーター：原 健一さん

（メンズサポートふくおか代表）

○申込締切：9月5日（金）

○参加費：4,000円（8回分）

○申込・問合せ先：

NPO法人GGPジェンダー・地球市民企画

携帯：070-5532-5082（イワマル）

FAX：093-562-5310（GGP宛）

e-mail：haru2020@jcom.home.ne.jp

★第5回精神障害者自立支援活動賞（リリー賞）

精神保健福祉に貢献されている方々の姿を広く社会に紹介することで、医療と福祉の環境整備や充実に寄与し、精神障害（特に統合失調症）に関する一般の人たちの理解を深める一助となることを目的にしています。

★募集部門：「精神障害者部門」「医療・福祉活動部門」

★表彰及び副賞：2部門で各2個人またはグループ
（合計4個人またはグループ）

受賞者には表彰状と副賞 100万円

★募集締切：9月30日（火）当日消印有効

★精神障害へのアンチスティグマ研究会「リリー賞」

〒650-0034 神戸市中央区京町69

三宮第一生命ビル2階

TEL：0120-392-993

<http://anti-stigma.jp>

助成金

★財団法人和証券福祉財団

第15回ボランティア活動等助成

ボランティア活動を目的とした団体・グループ
学生・若者のボランティア活動も積極的に支援します。
特に在宅老人、障害児・者、児童問題等に対するボラン
ティア活動。（※申込に際しては社会福祉協議会・共同募
金会等の推薦を受けてください）

★助成金額：30万円を上限
総額5,000万円

★締め切り：9月15日（月）当日消印有効

★財団法人 和証券福祉財団

〒104-0031 東京都中央区京橋1-2-1
大和八重洲ビル

TEL：03-3665-5147

FAX：03-3662-0495

<http://www.daiwa-grp.jp/branding/kouken/dsf.html>

NPO法人の申請・認証状況

全国のNPO法人の申請・認証状況

平成10年12月1日～平成20年6月30日現在


	受理数	認証数	不認証数
都道府県	33,376	32,153	371
【福岡県】	1,203	1,162	1
内閣府	3,004	2,788	119
全国計	36,380	34,941	490

北九州市のNPO法人の申請・認証状況

平成10年12月1日～平成20年7月31日現在

	受理数	認証数	不認証数
【北九州】	247	228	—

NPO活動発表団体を募集しています!!



当センターでは、市内で活動するNPO法人やボランティア団体を、広く市民の皆様にご存知いただくため、毎月25日に「NPO活動発表会」を開催しています。

日頃の活動をPRする場、プレゼンテーションの予行練習など動機は問いません。発表希望のされる団体はサポートセンターまでご連絡ください。

北九州市市民活動サポートセンター

〒803-0814 北九州市小倉北区大手町11-4

北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”1F

TEL 093-562-5309 FAX 093-562-5310

URL <http://www2.kid.ne.jp/v-net/> E-mail: support3@axel.ocn.ne.jp

市民活動サポートセンターでは、NPO・ボランティア活動に関する相談や情報の提供を行っています。また、団体間のネットワークづくりの促進のため、定期的な交流会を開催しています。

◆サポートセンターの日…毎月テーマを変えて、交流会をしています。

◆専門相談員が相談に対応…月～土曜日 17:00～21:00
日曜・祝日 13:00～17:00

◆ミーティングコーナー…パーティションで仕切った無料の会議室。

※要予約

◆掲示板スペース…団体や活動に関するチラシ等を掲示しています。

—利用時間— 月曜日～土曜日《10:00～21:00》

日曜日・祝日 《10:00～17:00》

【休館日】8月28日(木)・9月25日(木)

予告「市民活動実践者育成講座」が
スタートします!

日程:9月27日(土)～10月29日(水) 全4回
場所:ウェルとばた会議室、ムーブ小セミナールーム

2回目以降のスケジュールや申込み方法等は、9月1日以降のサポートセンターHPや市政だより(9月1号)等に掲載しますので、ご覧ください。

市民活動実践者育成講座(第1回)公開講座

早瀬 昇氏(大阪ボランティア協会理事)が
北九州にやって来ます!

トッランナー

「自分らしく社会のために
—市民活動の成功学とは—」

に聞く!

市民活動を行う団体や個人のための基礎力アップを目的に開催する「市民活動実践者育成講座」(全4回)の第1回目です。

団体の運営力を向上させたい方、市民活動はこれからという方も、公開講座ですのでお気軽にご参加ください。たくさんの申込みをお待ちしています!

○日時:9月27日(土)14:00～16:00

○場所:ウエルとばた 111・112会議室

○入場:無料 ○定員:80名

○申込み先:

氏名、所属団体名、連絡先(TEL・FAXなど)を市民活動サポートセンターまでご連絡ください。

TEL 093-562-5309

FAX 093-562-5310

※この講座は、北九州市が主催し、北九州NPO研究交流会が企画運営を行う協働事業です。

編集後記

ある日、唱歌を皆で歌う機会がありました。急な事だったのと気恥ずかしさの為か、誰も声を出さないでいると、先生は「皆、すごいね～。心の中で歌ってたんだね。」とおっしゃいました。

先生のその一言で皆の心が和み、次からは自然と皆で揃って声を出し、歌うことができました。

「どうして声を出さないの?」とか「声を出して。」と言われてたらきっと結果は違っていたでしょう。

相手の心を和ませる言葉の使い方ができる人は素敵だと思いました。

By. ち～☆